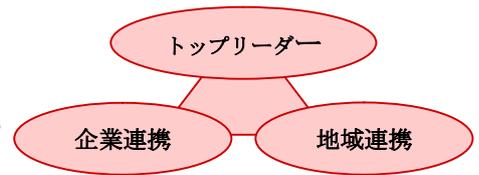


「社会と学校のかげ橋」＝キャリア教育、推進中！

通常の授業の中に、ゲストスピーカーや外部講師をお呼びするのが市ヶ尾中学校の特徴です。みんなには様々な生き方をしている大人たちのオーラを感じて欲しい。そして、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現してほしい。



3年理科 環境プログラム『Dr. フォレストと校庭に出よう！』 積水ハウス(株)



身近な自然をテーマにした”体験思考型”環境プログラム『Dr. フォレストと校庭に出よう！～緑の専門家と一緒に、緑と生き物の関わりについて考えよう～』が毎年出前授業で来てくださるようになって4回目。今回も積水ハウスからは、樹木医の資格を持った方や、営業の社員の方など様々な職種の8名が来校いただきました。

積水ハウスの社員の方々による出前授業

はじめの1時間で食物連鎖のおどろきの説明が！シジュウカラという鳥がいますが、さて1日に何匹のシャクトリ虫を食べているのでしょうか！？その答えは・・・なんと約300匹！また、木も、外来種・在来種によって、環境にどう影響するのかについても勉強になりました。

2時間目は、積水ハウスの社員の方々といっしょに校庭に出ました。教科書だけでなく、実際のフィールドワークや木の専門家からお話を伺うことにより、食物連鎖のことが深く知れたのではないかと思います。



校庭をフィールドトリップ↑

3年社会科 租税教室 「税は取られるもんじゃない」 東京地方税理士会

緑税務会より、小木曾崇先生・渡部さおり先生・谷口盛二先生の3人の税理士の先生にお越しいただき、公民の出前授業をしていただきました。税金の大切さがよく理解できた授業だったと思います。

授業の中で、生徒の中に入っただき、双方向のコミュニケーションを重視した楽しい授業となりました。



緑税務署の税理士の先生による出前授業↑

全校生徒 地域の方98名が先生！「わくわく交流会」は18年目！23講座開催！

を迎えます。全校生徒は、23講座に分かれ、学年を横断して地域の方々から様々なことを学びました。普段、学校の教育課程ではできない体験的な講座ばかりでした。

地域の皆様、今年度もご協力いただき、ありがとうございました。



お琴講座



手品講座



トリマー講座

<博報財団>海外生徒日本体験プログラム・感想

博報財団「世界の子ども日本語ネットワーク推進事業」ですべての費用が博報財団の支援により、ゴールデンウィークに4人がベトナムへ、また8月にはインドネシア・スリランカ・トルコ・マレーシア・ロシアの20名の中学生が来日。富士山のふもとで2泊3



日の合宿をしたり、市ヶ尾中学校に市ヶ尾中学校に5か国の生徒が体験入学。共に授業を受けました↑体験入学にも来ました。最終日には、新横浜プリンスホテルで生徒・保護者・先生が一堂に会し歓送会を開催。5か国の生徒たちが日本の発見について発表をしてくれました。ここに書ききれないほどの素晴らしい感想をいただきましたが、抜粋させていただきます。

・ベトナム派遣・富士山プロジェクトで、僕はかけがえのない大切なものを得ることができた。それは教科書では得られない特別な体験だと思う。世界は広い。世界はまだ自分の知らないことで満ち溢れているし、自分とは違う生活をしている人が何億人もいる。そんな世界を、僕はこの目で見てみたい。(3-3 菊地勇希さん)

・家族で経験した初めてのホームステイ受け入れは、この夏の一番の思い出となりました。正直、今まで経験したことがなかったので不安でいっぱいでした。今は受け入れて本当によかったという気持ちで満たされています。どんなことでも経験してみることが大事だと思いました。1日という短い期間でしたが、ホームステイで受け入れた生徒さんから私たち家族はたくさんのことを教えてもらいました。(3-3 菊地勇希さん保護者)

・今回私は、国境なんて関係ない、人はみんな同じなんだということを学びました。約5日間という時間に、同じことに笑い、楽しみ、悲しんだ60人には国なんてものは関係なかったと思いました。(3-5 篠原紗奈さん)

・今回の体験は、娘の将来に大きな自信となり、視野を広げ、また大切な宝となったと思います。(歓送会の最後の)海外生徒見送りの時、最後まで手を振り続けた娘を見て、私も泣いてしまいました。恵まれた環境、悩みの小ささ、今いる場所の狭さ、世界の広さを肌で感じられた体験だったと思います。(3-5 篠原紗奈さん保護者)

・一緒に過ごすことで、宗教など文化の違いを直に感じたり、外国の「普通」を知れたり、いろいろなことに驚きました。でもそれゆえに、外国だけでなく、日本のことをまた見つめなおすことができました。(2-2 和田空大さん)

・「言葉がわからなくてもコミュニケーションをとれる」ということの楽しさを改めて感じました。相手が理解してくれた時に、達成感と共に楽しさがこみ上げてきました。

(3-2 中村梨華子さん)

・歓送会では、海外の生徒たちが日本に来て発見したことを発表していました。日本では当たり前だけど、海外ではありえないことをいろいろ知れてよかったと思います。

(2-5 二宮菜々子)

・今回の体験で、違う国の違う文化の違う言葉の人にも、心から話しかければ伝わるということを学びました。(1-4 大郷新治さん)

<公開授業のお知らせ>

10月9日(木)5校時(13:25-14:15) * 普段の学校の様子を地域の皆様も是非ご覧ください。

市ヶ尾中Times

11月号

ほぼ毎日更新！→<http://www.cms-school.jp/ichigao>

<学校教育理念>

自立貢献

～Live your dreams～

夢を生きよう

発行者：校長 平川理恵

市ヶ尾中 Tel 045-973-3400

「わたしはマララ」を読んで

校長 平川理恵

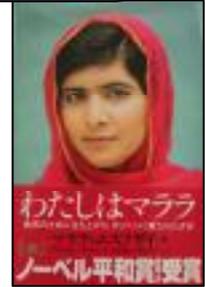
先日、「17歳のマララ・ユフザイさん、最年少でノーベル平和賞受賞」の記事が新聞の一面を飾りました。1989年の国連総会の「子どもの権利条約」では、「国籍も、宗教も、性別もかかわりなく、子どもは誰も守られる権利や育つ権利を持つ」と書かれています。しかし、いまだにマララさんの生まれ育った地域では男の子が生まれたら祝砲を鳴らし、女の子が生まれたら悲しみの日になるということを本で知りました。また、女の子が学校に行くことも許されていないそうなのです。それから、国際児童基金の調査によりますと、世界の子どもの15%が働かされているという結果もあります。

本の最初の部分には「不当な扱いを受け、沈黙させられたすべての女の子に。いっしょに声をあげましょう。」と書かれていました。しかし、女性の教育が禁止されている状況の中で、必死に勉強をつづけながら日記をブログに乗せたり、マスコミのインタビューを受け…声を上げた結果、マララさんはテロリストに狙われ、銃で撃たれてしまいます。スクールバスに乗り込んできた男に「どの子がマララだ？」と言われ、コルト45のピストルで3発。幸いにも瀕死の重傷で一命を取り留めたものの、自分の考えや意志を発信することによって命の危機と隣り合わせの生活って、どんなに恐ろしかったらう、何度発信したことを後悔し、そして発信することをやめようと思ったことだらうと、改めてマララさんの勇気に偉大さを感じました。

それでもまだ中学生である皆さんとさほど変わらない17歳の少女で、映画『トワイライト』や『オズの魔法使い』が大好きで、髪を伸ばそうか伸ばすまいか、背はどうやったら伸びるんだろう？という悩みもあるらしく、マララさんのかわいらしさを感じ、少し身近に感じました。

私は、かつて会社を経営していましたが、会社経営するということはいろんなことがあるものです。友人の会社が倒産してしまい、個人保証していた家の家財を持って行かれる時に友人の奥さんが「好きなだけ持っていきなさい！身ぐるみはがされたとしても、私の頭の中だけは持っていけないから！」と言ったということを書いたことがあります。人生、何があるかわかりませんが、教育によって授かった叢智だけは一生モノです。「世界の無学、貧困、テロに立ち向かいましょう。本とペンをもって闘いましょう。それこそが、私たちのもっとも強力な武器なのです。ひとりの子ども、ひとりの教師、一冊の本、そして一本のペンが、世界を変えるのです。」…17歳の誕生日にマララさんの国連本部でのスピーチです。

そして、言いたいことや、おかしいと思ったことにふたをして感情を押し殺すよりも、どうしても通さなければいけない主義主張の時は、伝える勇気を持つ…！マララさんの本を読み、解決するためには難しいことも多いけど、勇気の火を絶やすことなく在りたいと思いました。





おジャマします。授業拝見&お仕事拝見。

へんなたとえかかもしれませんが、学校の主力商品は授業。私（平川）も、授業を見学させてもらっています。

音楽科・松井貴史先生

3年生の音楽の授業におジャマしました。ラヴェルの『ボレロ』の鑑賞でした。

音楽科の目的のひとつに、お互いの音をよく聴こうというものがありますが、今日は管弦楽の魔術師といわれたラヴェルのボレロをよく聴いてみようというのが、めあてです。大変な名作・大作ですが、あの独特のリズム…そして2つのメロディがいろいろな楽器で演奏され、最後のクライマックスまで導かれます。曲を実際に聞いた後、クラスを半分に分けて2つのリズムをペンや手を使って机をたたいて奏でてみます。すると・・・『ボレロ』になりました！

授業の終わりのほうに前のピアノの前に集まり、『荒城の月』の歌を歌いながらギターのコードを確認・・・今後、ギターの弾き語りができるようにチャレンジしていくそうです。



3年副担任：松井先生

また、このクラスは、先週の文化学習発表会で『合唱祭がなくなる日』という劇をして最後に素晴らしい合唱を披露してくれましたが、授業の終わりに歌った校歌も素晴らしいものでした。

←松井先生のピアノの周りに集まり歌を歌う



学習ルーム・土屋由紀子先生

昨年度より市ヶ尾中学校に「学習ルーム」を設置。学区小学校にも荏田西小学校には学習ルームがありますが、中学校でも同じように個に合わせた対応ができれば…と設置しました。土屋先生は一般級の英語の授業を行いつつ、学習ルームの先生として生徒・保護者の相談に乗っています。

土屋先生に学習ルームについてその意義と目的などを聞いてみました。「学習ルームとは、学習が苦手な生徒や様々なニーズに応えるため、学習のサポートを行うところです。学習のサポートとは、大きな集団にいることに不安があったり、教室での学習に



学習ルーム：土屋先生

困り感があるなど感じる生徒にいつでも相談に乗る場所です。基本的には、それぞれの生徒の進度に合わせた学習を行っていきます。どんなところかなと思う人は声をかけてきてくださいね。」

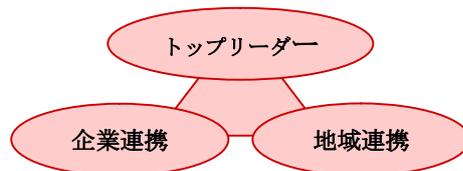
人それぞれ。「みんなちがって、みんないい。」のように、それぞれの多様性や学び方、学ぶスタイルやペース等、様々なものがあっていいと思います。



学習ルームの中

「社会と学校のかげ橋」=キャリア教育、推進中！

通常の授業の中に、ゲストスピーカーや外部講師をお呼びするのが市ヶ尾中学校の特徴です。みんなには様々な生き方をしている大人たちのオーラを感じて欲しい。そして、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現してほしい。



1年家庭科 地域の方々がサブ先生「豚肉の生姜焼き」調理実習



今年度より、学校支援本部のボランティアコーディネーターとして菅野さんと高力さんのお2人お引き受けくださり、1年生の家庭科の料理実習全クラスに地域の方をそれぞれ5人ほどサブ先生として紹介いただき、充実した調理実習を行うことができました。豚の生姜焼き、温野菜、野菜スープ、梨・・・と、栄養バランスの良いメニューでした。ボランテ

↑コーディネーターの菅野さん（真ん中）

ィアの方の中には、市ヶ尾中学校の元PTAの方も多く、おうちのお仕事のプロとして、本当にきめ細やかにご指導いただきました。

調理実習の後は、一緒にお食事もいただき、話も弾みました。ボランティアくださった方の中には、何クラスか担当いただいた方もいらっしやって「この間、街で中学生が声をかけてくれたんですよ！ 私(平川)も生徒と一緒にご馳走に。↑

嬉しかったです。」とおっしゃっていました。授業の中に地域の方が第二第三の先生として入ることにより、昔は当たり前のように存在していた隣のおじさんお婆さんとのお付き合いや絆づくりが学校で自然とできます。

ご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。

担任の先生も入り、地域の方と食事タイム！「おいしい！」→



2年美術科 こねこね倶楽部のみなさんと「ランプシェードを創ろう！陶芸授業」



毎週土曜日に市中美術室で地域の皆さんが“こねこね倶楽部”という陶芸サークル活動をされています。2年生の美術の授業でサブ先生をしていただき、今年で4年目になるでしょうか。今年度も、7・8組の美術の授業や、地域の人が先生“わくわく交流会”など、さまざまな場面でご指導いただいています。2年生の美術の授業では、「ランプシェードを創ろう」と言う単元で、技術指導いただいています。子どもたちは、自由な発想で様々な造形をデザインしますが、それが技術的に可能かどうか、またどのような工夫をしたらさらによくなるか…1クラスに数名のこねこね倶楽部の方々に入ってくださいご指導いた

↑陶芸授業でボランティア先生

きます。もし入っていただかなかっただら、「先生！」「先生！」と先生の助けを求める生徒の声がガンガン鳴り響くと思います。こちらも家庭科の調理実習同様、豊かな教育活動のためにボランティアでご尽力いただき、ありがとうございます。

文化学習発表会開催「虹色パレット～市中色に染めあげろ」

10月23～24日の2日間、文化学習発表会が開催されました。今年のスローガンは「虹色パレット～市中色に染めあげろ」です。虹はさまざまな色を含みますが、そのすべてが太陽の白色光から分かれたもの



体育館に掲げられたスローガン↑

であり、各色の間に明確な境界を引くこともできません。この性質からか、虹色の旗は「多様性」「共存」の象徴として用いられているそうです。みなさんがこれから活躍する時代は、きっとこの「多様性」「共存」がキーワードとなってくると思います。今年文化学習発表会は、拍手あり・応援ありと、舞台と観客側が一体感を感じられました。

実際は、2日間の素晴らしい発表の前、約半年間の準備が大変だったと思います。共働する、一つのものを作り上げていく苦勞と喜びを体験したのではないのでしょうか？今後の学級活動や学年に生かして行ってほしいと思います。



1年生もがんばりました！



3年生は堂々の演技



実行委員の皆さん、お疲れ様でした！

荏田西小・東市ヶ尾小の6年生が授業参観

10月8日の小中交流日に、来年4月に入学予定の現6年生が市中来校。今の市中学生も小学校の時に授業見学に来ています。市中学生からすると、久しぶりに会う小学校の先生に「うわ～！先生、ひさしぶり！」の瞬間です。また「あ！**君



小中交流日に小6生が授業参観

の弟なんだ！」「**ちゃんの妹！？似てるー」などとわくわくする時間でもありました。

授業参観以外に、文化学習発表会の観劇や部活動見学会などに来て、市中に慣れていき、4月にはスムーズに入学いただくことを願っております。

学習相談実施&後期スタート！



↑各教科の先生に学習相談

10月10日に前期の終業式を行いました。この日、連絡票を渡された生徒が各教科の先生の部屋に行き「どうやったら成績が上がりますか？」「勉強方法を教えてください」など、学習相談をしていました。

前期・後期の折り返し地点。前期をよく振り返り、後期に生かしていきましょう。



2014/12/2

横浜市立市ヶ尾中学校 学校だより Vol. 59

市ヶ尾中Times

12月号

<学校教育理念>

自立貢献

～Live your dreams～

夢を生きよう

ほぼ毎日更新！→<http://www.cms-school.jp/ichigao>

発行者：校長 平川理恵

市ヶ尾中 Tel 045-973-3400

私とマラソン

校長 平川理恵



「私とマラソン」なんていう題名をつけると、「よっぽどマラソン好きなのかな？」と誤解されるかもしれません。「マラソン、好きですか？」と聞かれると、「そんなにでもありません」というかんじです。

30歳を過ぎたころから、たらたらと走り始めました。走るといっても、歩いているかわからないほどゆっくりです。走り始めたきっかけは、「30歳を過ぎて健康を維持しようと思ったら、放っておいたら体力は落ちる一方。何かを積極的にやらないとダメ。」という話を友人から聞いたからです。確かに、体力の衰えを感じた時期でもありました。（現在はもっと衰えてますが・・・涙。）

初めは1キロも走れませんでした。息が切れちゃうし、すぐに歩いてしまいます。ところが、最近は10キロほど走れるようになりました。何がそうさせたか？というと、「仲間」の存在かもしれません。娘の関係のパパ友・ママ友たちと、週末土日のどちらかで朝の6:00に娘の小学校の校門前に集合し、多摩川土手を走るようになりました。話しながら走っていると、あっという間に走れてしまいます。

それに、走ることで、自然を感じるができます。春は桜舞う中を走ると「日本は本当に美しい国だな」と誇りに思えます。夏は青く茂った葉っぱの中を・・・途中、ひまわりや朝顔が咲いていると「ああ、夏だな」と感じます。秋は落ち葉を踏みしめながら、だんだん寒くなっていく風を感じ、冬は自分の吐く息の白さを見つめます。葉っぱがなくなった木の枝を見上げると、冬の澄んだ空気を感じ、何とも言えない心地よさを感じます。少くも嫌なことがあっても、走ると少し軽くなるし、「また頑張ろう！」とストレス解消にもなります。

時々他流試合と思い、マラソン大会にも出てみます。（なかなか忙しくて出れませんが・・・）そんなところに行くと「へー、世の中、こんなに頑張ってる人たちがいるんだ～。あたしもがんばろ～」と思います。記録はそんなに変わらないんですけど、大会に出ることにより「自分に厳しくできる時」でもあります。というのは、誰も代わりに走ってはくれないんだなと感じられるからです。

人生、ややもすると、『自分に甘い』『自分を甘やかす』ことが往々にしてあります。でも、どんなに苦しくても誰も代わってはくれません。自分で頑張るしかないと思います。自分に厳しく向かうことを課しながら、また走ろうと思います。



おジャマします。授業拝見 & お仕事拝見。

へんなたとえかかもしれませんが、学校の主力商品は授業。私（平川）も日々、授業を見学させてもらっています。

7・8組 神田伸先生

市ヶ尾中学校の教育理念は「自立貢献」。個別支援級では、自立に向け、調理実習や農園作業にも力を入れています。今日は、1か月ほど前に植えた赤カブ・ニンジン・京菜・ネギなどの草抜き作業をしました。「どれが雑草で、どれが野菜か、間違えないように抜こうね」と指導。雑草取りをした後、「大きく育つといいね。」と肥料も撒きました。

神田先生の個人的なことですが、小学生の時は人前に出たとき、話そうと思ってもなかなか話せない……。

苦しい想いをされたそうです。中学生になると、

委員会活動など小学生の時よりも人前に立つ機会も多くなり、敢えて自分に厳しくして克服しようと、努めて人前で話すようにしたそうです。本人の



↑育てた野菜を調理実習で使うことも

努力と、中学校の先生たちはじめ周りからのサポートもあり、気が付いたら人前でも臆することなく話せるようになりました。「僕自身、そういう体験があるので、子どもたちには何か小さなこともいいので“乗り越える”と言う体験をしてほし

いと切に願っています。」と神田先生。



サッカーをずっとやってきました！神田先生↑

英語科 天野裕里子先生

2年生の英語の授業におジャマしました。時節柄か、Wham! (ワム) の「Last Christmas(ラストクリスマス)」をみんなで歌いました。私(平川)が中学生の時に聴いたもはやクラシックな曲なのにみんな知っているのかな？と置いていましたが、「みんな、この曲知ってる？知ってる人？」の天野先生の問いかけにほとんどの生徒が手を挙げていました。

天野先生に、なぜ英語の先生になったのか聞いてみました。天野先生ご自身は、中学校の時の恩師との出会いが大きなきっかけだったそうです。「留学したい！」とずっと思ってもいたそうですが、バレーボールのキャプテンをしていたので、なかなか



↑ペアワークで会話力をつけよう！

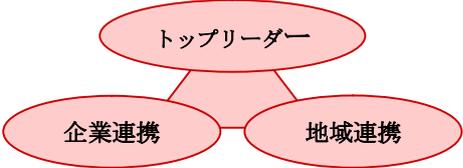
が行けず……ついに大学の

バレー部でした！天野先生↑時にニュージーランドに留学したそうです。「生徒のみんなに英語の勉強は必要だよって言っても、“いいよ、私、日本にいるし”と言う答えがよく返ってきます。でも、これからの時代は、日本にいても外国人と一緒に働くということだって十分ありえます。英語の言葉自体は苦手でも、国際理解と言う観点で、どうか英語を好きになってほしいと思います。」と天野先生。



「社会と学校のかけ橋」＝キャリア教育、推進中！

通常の授業の中に、ゲストスピーカーや外部講師をお呼びするのが市ヶ尾中学校の特徴です。みんなには様々な生き方をしている大人たちのオーラを感じて欲しい。そして、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現してほしい。



人権特設授業「弁護士の先生たちと考える“人権”」NPO いじめストップナビ



昨年度、国会でいじめ防止対策推進法が可決され、施行されました。市ヶ尾中学校でも様々な場面で、いじめ防止の取り組みを行っていますが、今回は弁護士の先生が3人いらっしやって「いじめと人権」についてお話をしてくださいました。

「人権というのは発明」という初めの解説にはびっくりしました。私たちはオギャーと生まれたときから人権と言うものを持っているのですが、人権と言う概念

↑3人の弁護士の先生による出前授業

がなかった時代には、人間としての尊厳を冒されることも多々あったといいます。いじめも、生命の危機を脅かされ、人権侵害にもなります。子どもだけでなく、大人も「いじめはやってはいけないんだ」という空気を世の中に作っていくことが大切だ言うことを学びました。



全校生徒の前でどんどん意見や質問を出す市中学生！と弁護士の先生たちも驚いていました。↑

2・3年生 福祉体験事前学習「認知症の寸劇等」ゆい青葉、荏田福祉ホーム他

12月に1・2年生を対象に福祉体験学習をおこないます。老人ホーム・ケアプラザ・作業所・保育園などに分かれて体験をさせていただく予定です。実際に体験させていただくいくつかの事業所の方々にお越しいただき、障がいやお年寄りの認知症などの理解のための、知識や工夫点をお話しいただきました。



追真迫る認知症の寸劇→

2年体育科 「現代的なリズムのダンス（ヒップホップ）」 プロダンサーEGAさん他



文化庁「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」助成により、2年生の体育では、8コマのダンスの授業のうち3回、プロのダンサー6人に来ていただきました。最終日は、体育の先生、プロのダンサーが審査員となり、生徒・保護者の方々の前で発表。舞台の上で班ごとに「EXILEライジングサン市ヶ尾中バージョン」を踊っていきます。

↑プロのダンサーによる出前授業

発表後、「ダンスはうまい下手ではない。どれだけ自分が練習し努力をして舞台に立てるか、ダンスを楽しみながらやっているかです。努力している人は舞台に立っただけでオーラがある。」と、プロのダンサーたちから心に残るお話をいただきました。

発表後、「ダンスはうまい下手ではない。どれ

最終日には発表→



新旧生徒会バトンタッチ

新生徒会になって、初の生徒集会が開かれ、新生徒会のスローガンが発表されました。

「信義 信頼し信頼される本部」と元気よく発表！来年の創立 30 周年に向け、生徒会本部でもより良い市中的のために何か取組めたら…と言う話をしてくれました。頑張ろう！

新旧生徒会☆バトンタッチ！→



オーストラリアから1日体験入学



学区荏田西小学校がオーストラリアのビクトリア州にある Sale Primary School と姉妹校であるため、オーストラリアの中学生が1日体験入学に来ました。

1年1組の生徒と一緒に、音楽・理科・社会の授業を受け、良い国際交流の場となりました。

←オーストラリアから体験入学

市中先生たち、勉強してます@校内研修

11月17・18日の午後、中間テストの作問・採点の合間を縫って、教職員研修を行いました。

赤十字より4人の先生に来ていただき、救護の方法・・・特に「三角巾を使った止血方法」を勉強しました。災害時や部活時など、学んだことが活用できるようにしたいと思います。また、教職員の心と体の健康維持と向上を目的に、「心の健康づくりに関する講義」を行いました。



赤十字による救護研修↑

小中教職員が交流・授業研究



市ヶ尾中学校にて、学区である荏田西小学校・東市ヶ尾小学校の教職員の皆さんが授業参観を行い、そのあと授業討議を行いました。

授業を観た後、「ICTはどう進めていますか?」「グループ学習はどのような頻度で行っていますか?」等の忌憚のない質問をし合い、いい情報交換の場となりました。

小学校の先生が中学校の授業を研究↑

<30周年に向け、みんなでトイレ掃除会を行います!>

「Dear 校長 公聴ポスト」に「体育館のトイレをきれいにしてください」とよく手紙が入るのですが、この度、神奈川掃除の会にご協力いただき、生徒・教職員・保護者・地域の有志でトイレ掃除会を行うことにしました。

「トイレの神様」の歌にもあるように、トイレを磨き上げたら心がピカピカになるそうです!なお、参加者には、カレーライスがふるまわれます。ふるってご参加ください!

*12月23日(火祝)朝8:10~12:00 *参加料:無料

*地域よりご参加の方は12/10頃までにお電話ください。Tel 973-3400





2014/12/25

横浜市立市ヶ尾中学校 学校だより Vol. 60

市ヶ尾中Times

1月号

ほぼ毎日更新！→<http://www.cms-school.jp/ichigao>

<学校教育理念>

自立貢献

～Live your dreams～

夢を生きよう

発行者：校長 平川理恵

市ヶ尾中 Tel 045-973-3400

だめよ～ダメダメ 時間泥棒

校長 平川理恵

2014年は、あなたにとってどんな年でしたか？先日、手帳や日記を観ながら、今年は市ヶ尾中学校にとってどんな年だったか、振り返ってみました。今年、博報財団様の支援によりGWに生徒・教員5名をベトナムに海外派遣したり、インドネシア・スリランカ・トルコ・マレーシア・ロシアから日本語を学ぶ20名の生徒が来日し、市ヶ尾中の20名の生徒と富士山で2泊3日の合宿をしました。また、アメリカの



ミヒヤエル・エンデ作『モモ』

ハーバード大学の学生たちによるアカペラコンサートや、オーストラリアからの1日体験入学など、今、新聞などでたびたび目にするちょっと“グローバル”だったかな？と思います。

さて、インターネットが出現して、距離や時空を超えて便利にはなりました。ポチと押せばお買い物もできるし、わざわざ電話をかけたり、おうちまで行かなくても、メールを送っておけばそのうち返事も来ます。便利にもなりましたし、楽しくもなりました。

しかし、先日、小学生の子たちが公園で遊んでいるのを見て、みんなゲーム機の画面ばかり見てちっともお話もしない・・・むしろ画面とお話ししている姿に違和感がありました。電車でも、人と話しながらも、各人がスマホの画面を見ている。これから、年末年始で家族や友人がみんな集まって過ごす機会が多くなると思います。ネットのない時代は考え難いけどスマホの画面を観ずに顔をきちんと見ながら、向き合って話していきたいものだなと思いました。

そこで、私がみんなと同じ中学生の時に『モモ』と言う本を読んだのを思い出しました。町はずれの円形劇場跡に迷い込んだ不思議な少女モモ。町の人たちはモモに話を聞いてもらおうと、幸福な気持ちになるのです。そこへ、「時間どろぼう」の男たちの魔の手が忍び寄り、「“時間”とは何か」を問う、そんなお話です。

忙しいという字は「忄(心)」を「亡(うしな)う」と書きます。「忙しい、忙しい」と言っていたら、心を失ってしまうって怖いことです。心を取り戻すには、いま、ここに自分の時間があるかどうか、自分の心で感じられる時間を過ごしているかどうか・・・だと思います。エンデが提唱したのは「時間は“意識”である」ということではないかと思えます。

先日、『エッセンシャル思考』(グレッグ・マクエーン著)という本を読みながら、人生、「より少なく、しかしより良く」生きるには、トレードオフと言って、何かを捨て、何かを選び取るしかないなど考えていました。「自分は何が好きか」「何が得意か」「何に貢献できるか」を考えながら、来年も毎日、楽しく、活力を持って、親からもらったこの身体を有効に使って生きていきたいなど思いました。今年一年も、本当にお世話になりました。どうかよいお年をお迎えください。



おジャマします。授業拝見 & お仕事拝見。

へんなたとえかもしれませんが、学校の主力商品は授業。私（平川）も日々、授業を見学させてもらっています。

理科 続橋直弥先生

2年生の理科では、電流の性質を学んでいます。今回の授業では、回路に加わる電圧はどこも同じかどうか…の実験をしました。まず、先生から電流と電圧に関する説明がありました。「電流は、水に例えると水の流れ・・・”圧”は圧力・・・押される力だよー。例えば、滝。」と続橋先生。

プリントに埋めながら、進めていきます。続橋先生は、机間巡視(机と机の間をまわりながら進捗状況をチェック)しながら、生徒の質問にどんどん答えます。そして実験。まず実験の方法や解説をして、それから班ごとに取り組んでいきます。豆電球での実験が終わった早い班は、プロペラでも実験をしていました。



2-2 担任：続橋先生 ↑

続橋先生が“先生”と言う仕事に就いたきっかけは、大学の時、少年野球のコーチをしたり、大学の近くの小中学校でボランティアをした時、続橋先生の何気ない一言で子どもたちが「はっ」としたり、変わっていくことが素敵だなと思ったことだそうです。ご自身も「勉強が嫌いで、野球一筋の中学生時代だった」ということですが、野球によって一生懸命できることが見つかり、今に至るとのことでした。今は「野球より授業が一番！生徒が自分たちで考えられる授業をしたい！理科で“なぜ？”が“なるほど！”に結び付くような授業をしたい」と思っているそうです。



↑ 班ごとに実験

頑張れ、続橋先生！

国語科 九嶋ひとみ先生



↑ 2年副担任：九嶋先生

7・8組の国語の授業におジャマしました。市ヶ尾中学校では、個別支援級に教科の先生が週8時間ほど教科応援で授業を行っています。この日の国語の授業は、年末と言うこともあり百人一首をしました。

授業のはじめ「僕、坊主めくりがいいなー」と生徒から出ましたが、やり始めると皆ものすごく燃え始めました。一句一句の間に「この人は清少納言のお父さんなんですよ〜」「今日は”けふ”と書くんだねえ」など、九嶋先生の解説も入ります。お正月に、是非おうちで百人一首を楽しんでもらえたらなと思いました。

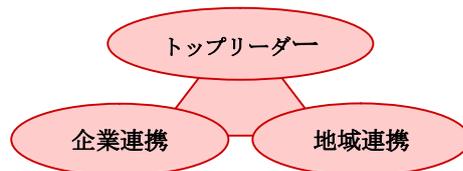
九嶋先生は、子どもの時から読書や国語が好きだったそうです。一時、中高生の時に英語関係の仕事も面白いかなと思ったそうですが、大学の際に森鷗外の研究にハマり、国語の先生を目指すことになりました。横浜市の先生になり、横浜市歌が森鷗外作詞だということを知った今、「森鷗外が作詞した経緯を研究してみたい」とおっしゃっていました。大学生の際に塾講師のバイトで「なんで国語なんか勉強しなきゃいけないかわかんない」と聞かれ、明確な答えを伝えられなかった九嶋先生も、今でははっきりと生徒に答えます。「それをやることによって、新しい道が開ける。何事も無駄なことなんてひとつもないんだ」と。



白熱！百人一首！ ↑

「社会と学校のかげ橋」=キャリア教育、推進中！

通常の授業の中に、ゲストスピーカーや外部講師をお呼びするのが市ヶ尾中学校の特徴です。みんなには様々な生き方をしている大人たちのオーラを感じて欲しい。そして、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現してほしい。



1・2年生 老人ホーム・保育園等、約70カ所に分かれ、福祉体験学習



老人施設(左)・保育園(右)にて福祉体験

多くの中学校が“職業”体験をする中、市中では、老人ホーム・保育園・地域ケアプラザなどに分かれ、“福祉”体験に特化しています。貴重な体験をさせていただき、生徒たちはそれぞれ大きなものを学んできたように思います。快く受け入れてくださ

った施設の皆様には本当に感謝いたします。ありがとうございました。

生徒・保護者・地域 30周年記念事業「神奈川掃除に学ぶ会」に学ぶトイレ掃除

「Dear 校長 公聴ポスト」に「体育館のトイレをきれいにしてください」という手紙が時々入るのですが、この度、神奈川掃除に学ぶ会にご協力いただき、12月23日の祝日の朝8時より、生徒・教職員・保護者・地域の有志、総勢110名でトイレ掃除会を行いました。

初めは便器に手を入れて磨くなんて、「えー」と私(平川)自身正直感じていましたが、一生懸命無心に磨くとなんだか



心がスカットなったトイレ掃除↑

スカットして心まできれいになった感じがしました。参加された方々に感想を聞くと、「いつもお世話になっているトイレがこんなに汚れているなんてびっくりした」「すがすがしい



気分になりました!」「70年以上生きてきて、トイレに対してこんな気持ちになったのは初めて」「家に帰ってすぐにトイレの掃除をしたくなりました」「感謝の気持ちがわいてきた」など、皆さん参加された方々は大満足でした。

年末のお忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。

←掃除の後はみんなでおいしいカレーをいただきました。

3年理科・社会科 学校司書による授業「本で調べて報告書を書こう」

3年生の社会科・理科などの教科で、学校司書による「本で調べて報告書を書こう」の授業を行っています。昨今は、大学生でもウィキペディア丸写しの報告書しかかけないということが問題になっていますが、市ヶ尾中学校の生徒は、



↑学校司書に相談に乗ってもらい本を選ぶ 学校司書:駒木さん

出典の書き方もしっかりしていて、本で調べてきちんとしたレポートが書けます!

大人になって、仕事も場面や市民活動の中できっと役に立つはず!

3年生、進路面接特訓中！

12月中旬より3年生の校長面接練習を行っています。みんな緊張した面持ちです・・・！

礼法に入り・・・自分の現在と過去(中学校3年間)と未来(行きたい学校とその後の将来)が一貫性があるかどうか・・・など、様々な観点から指導していています。

頑張れ！3年生！

面接でハキハキ答える3年生たち→



税の作文



↑表彰された2人と記念撮影

緑税務署の副所長が来校され、校長室にて、税の作文コンクールを受賞者に賞状と記念品を贈呈いただきました。市ヶ尾中学校では、3年生の夏休みの宿題に税の作文を書いて、出展します。今回は神奈川県で3500作文もの応募があったようですが、そのうち入賞は30人と狭き門。うち、2人は市ヶ尾中学校の生徒だったというわけです。

2人の生徒には、「ますます税についての知識を深め、高校等でも税の作文を募集しているそうなので、是非応募してほしい」と緑税務署副所長の方からお言葉をいただきました。

グリーンボランティアさんによるチューリップ

グリーンボランティアの方々が、校門脇の花壇にチューリップを植えてくださいました。

毎年、この時期に植えると、ちょうど入学式の頃に満開になります。このチューリップちゃんたちが咲くころには、もう来年度・・・ですね。寒い中活動くださるグリーンボランティアさんたち→



指導主事訪問・他県から視察等、千客万来です。

市ヶ尾中学校には、横浜市教育委員会の指導主事の先生方や、三重県津市や鈴鹿市、また群馬県教育委員会の方々など、とにかく全国津浦浦から授業・学校見学にいらっしゃいます。



横浜市教育委員会指導主事訪問



群馬県教育委員会の方々

皆さまより「生徒たちが挨拶もきちんとできていますね」「生徒主体のアクティブラーニングの授業ですね」とお褒めのお言葉をいただきました。

今年も大変お世話になりました。

2014年も皆様には本当にお世話になりました。特に、学校にいつもご協力いただく保護者・地域の皆様や、キャリア教育等のために出前授業をくださる皆様方には感謝申し上げます。

2015年も市ヶ尾中学校をどうかよろしく願いいたします。良いお年をお迎えください。

